信濃川水系緊急治水対策プロジェクト「情報発信」「地域の交流」の場がオープン！

■信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」を進めているところです。

■今回ｵｰﾌﾟﾝする「住民交流ﾊｳｽ」はﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの概要や工事の進捗状況など情報発信の場として活用するとともに、地域のみなさまには地域の交流の場として活用していただける施設となります。

■令和3年6月1日に開所式を執り行い、施設の利用が可能となりました。

〇日にち＝6月1日（火）
〇時　間＝10:00～10:30
〇出席者＝千曲川河川事務所長、長沼地区復興対策企画委員会委員長
　　長沼地区住民自治協議会会長・事務局長
〇会　場＝長野市長沼支所となり･住民交流ハウス

齋藤事務所長

プロジェクトの情報発信の場、地域の交流や文化活動の場として活用していただきたい。
工事の進捗状況についても丁寧に情報発信しながら、事業を進めてまいります。

山嵜会長

地域の交流の場として住民のコミュニケーションがとれていければ良いと思う。この場所で工事の進捗状況がわかるのはありがたい。

柳見澤委員長

国交省にとってはこれからの堤防整備の情報発信の場、長沼地域にとってはコミュニティー再生の場として、お互いの拠点として活用していきたい。

位置図

住民交流ハウス

住民交流ハウス・長沼支所 位置関係

開所式の様子

職員による施設概要説明

プロジェクトの情報発信の場として活用

長沼地区住民自治協議会へ鍵の譲渡

記念撮影